

ホシチャバネセセリ

Aeromachus inachus inachus

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧 I B類(EN)

種の概要

前翅長10～15mm程度。翅の表面は黒褐色で前翅には白色斑の列がある。翅の裏面は黄褐色で、後翅には黒褐色のまだら模様がある。草地に生息し、幼虫はオオアブラススキ、ススキを食べる。成虫は山地や寒冷地では7月～8月に、低地では6月～7月と8月～9月に出現する。



写真提供：清水哲哉

国内分布

本州、対馬

県内分布記録

多可町、姫路市、神河町、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○		○

特記事項

佐用町を中心とした県南西部の生息地は1970年代に、北部但馬地域では1990年代にほとんどみられなくなり、現在の生息地はごく狭い区域に限られる。南部では農地周辺に点在していた小規模な草原環境が農業構造の変化などで消滅、孤立化したことにより、北部では草刈り作業の中止などに伴う草原環境の縮小や消滅により減少した。

保護上の留意点

草刈りなど生息環境の保全・拡大を進めている。